

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あかぐみ東大和			
○保護者評価実施期間	R8年 6月 1日		～	R8年 6月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	R8年 6月 15日		～	R8年 7月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 7月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人ひとりの発達に合わせた、寄り添った支援	ご利用者さまがその方らしく過ごせる環境作り（ご自分の気持ちを素直に伝えやすいよう接する。傾聴、スキンシップ、趣味嗜好に合った遊びや話題の提供、同じ目線で過ごす）	スタッフ自身も楽しいと思える環境作りの継続（ご利用者さまもその楽しい雰囲気、毎日でも行きたい！と思っていただけの環境作り）と新しい活動への取り組み（事業所間交流・遠足やお出かけ等のイベントを増やす）
2	家族支援（保護者さま・ご家族の方への寄り添った支援）	保護者さまからの声（相談・意見・要望）を状況に応じて出来る限り支援内容に取り入れている。電話やLINE、送迎時にもご家族のみなさまとのコミュニケーションを大切にしています。	保護者さまが話しやすいと思える環境作り。一部のスタッフだけでなく全スタッフに対して行えるよう送迎時や保護者会等のイベント時に保護者さまとのコミュニケーションを増やす。
3	保護者さま評価表にて事業所の支援に満足して頂けたこと。	出来る範囲ではあるが保護者さまの声に（相談・意見・要望）寄り添い支援に繋がるよう相談しながら行っている。LINEでの連絡が多いが確実な返信などこまめな対応を行っている。	スタッフ1人ひとりの良さを引き出し現在のスキルを磨き、新たなスキルや知識を身に付けステップアップする（実践でのアドバイス、コミュニケーションの構築、eラーニング研修）

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のイベント参加や交流等の外出活動が少ない。	ご利用者さまお一人につきスタッフ1人の配置となると難しく、皆揃っての外出やイベント参加が十分とは言えない。	全員一度に参加ではなく時間別行動や日を分けて活動するなど工夫して予定を立てる。また、ボランティアの受け入れも視野に入れる。
2	事業所の近隣市民との交流が十分とは言えない。	事業所行事（バザー等）に近隣市民を招待しているが参加者は今までほぼゼロである。行事の内容や、双方にとっての適切な距離感を計る。	今年も東大和市主催の福祉祭にバザーを出店し、認知度を高めた。継続して近隣市民への周知を高めるとともに、双方にとって適切な距離感も計っていく。
3	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対策マニュアルについて保護者様への周知、理解が不十分である。	契約時と保護者会を通じて周知は行っているが十分な理解は得られていない。	言葉だけの説明ではなく、今後は保護者さまとの感染症勉強会や事業所ごとの引き渡し訓練といった実践での周知もおこなっていく。